

# 往生をいかに伝えるか

—多様化する現代人の死生観をみつめて—

浄土宗の死生観は、死後の極楽往生を抜きにしては語れません。しかし、現代人の中に、死後、極楽浄土に往生するとイメージしている人が、どれだけいるのでしょうか。一般の人々が求める故人のあり方と、極楽往生の教えの間には、「ずれ」があるように思われます。例えば、先立った故人が自分から離れずに近くにいてほしいという現代人の思いと、西方十萬億仏土の彼方にある極楽浄土へ往生する教えとの間には、大きな「ずれ」があります。

本シンポジウムでは、その「ずれ」に注目し、開宗850年を迎える今、浄土宗僧侶に求められる教化姿勢について、皆様と共に考える機会にしたいと思います。

令和5年 **12月4日** 月 12:30~16:30  
〔受付 12:00~〕

対面、オンライン併用

**対面** 浄土宗教化研修会館（源光院）1階大ホール

〒605-0062 京都市東山区林下町416番地

**オンライン** ZOOM

事前申込みの方にご案内をE-mailでお送りいたします。

## 登壇者

**安達 俊英**

圓通寺住職

総本山知恩院  
浄土宗学研究所  
囑託研究員



**大河内 大博**

願生寺住職

臨床仏教研究所  
特任研究員



**鵜飼 秀徳**

正覚寺住職

ジャーナリスト



**本郷 由美子**

下町グリーン  
サポート響和国  
「ひこぼえ」代表



**島 蘭 進**

宗教学者  
東京大学名誉教授



コーディネーター

**井野周隆**

浄土宗総合研究所研究員

第46回 浄土宗総合研究所シンポジウム

# 往生をいかに伝えるか

—多様化する現代人の死生観をみつめて—

令和5年 **12月4日** 月

12:30～16:30〔受付 12:00～〕

対面 浄土宗教化研修会館（源光院）

1階大ホール

〒605-0062 京都市東山区林下町416番地

オンライン ZOOM

事前申込みの方にご案内をE-mailでお送りいたします。

申込方法 浄土宗総合研究所ホームページ (<https://jsri.jodo.or.jp/>) 掲載の申込フォームよりお申し込みください。申込みフォームは、右のQRコードからも開くことができます。また、FAXでもお申し込みいただけます。



申込期限 令和5年11月27日(月)

問合せ先 浄土宗総合研究所(京都分室)

〒605-0062 京都市東山区林下町416 浄土宗教化研修会館内

TEL:075-744-0841 FAX:075-744-0849 E-mail:sympo2023kyoto@jsri.jp

## ■登壇者と発題テーマ

### 浄土宗の死生観について

—浄土宗学の立場から—

安達 俊英 圓通寺住職・総本山知恩院浄土宗学研究所嘱託研究員

### 臨床の現場における死生観について

—援助者の立場から—

大河内 大博 願生寺住職・臨床仏教研究所特任研究員

### 魂をめぐる死生観について

—ジャーナリストの立場から—

鵜飼 秀徳 正覚寺住職・ジャーナリスト

### 自身の死生観について

—我が子を失った遺族の立場から—

本郷 由美子 下町グリーンサポート響和国「ひこばえ」代表

### 現代人の死生観について

—宗教学の立場から—

島菌 進 宗教学者・東京大学名誉教授

## ■コーディネーター

井野周隆 浄土宗総合研究所研究員

## 参加申込票

FAX 075-744-0849 ▼

希望の参加方法を○で囲んでください

対面 / オンライン

教区

組

寺院番号 No.

TEL:

E-mail:

参加者氏名①

参加者氏名②

参加者氏名③

参加者氏名④